

市民ネットワーク 市議会報告

2025 年
10 月 30 日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電 話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com



五十嵐ともみ 伊藤とし子 松島こずえ

9 月市議会 (8/25 ~ 9/24)

2024年度決算 これが問題！

2024年度の決算は、実質単年度収支が11億7千万円の赤字で、2年連続の赤字となりました。物価高騰などにより物件費や人件費が増額、民生費、扶助費も膨らんだことが主な要因です。これから同じような事態が想定されるにもかかわらず、大型公共事業が粛々と進行しています。

ふるさと広場拡張整備事業の 総事業費は13億5000万円



ふるさと広場を観光目当ての公園に拡張するため、2024年度は40%の土地購入に2億1938万円を支出。残り60%の土地購入は今年度以降になります。また、県との合同事業になっている印旛沼の水辺拠点整備事業も含まれていて、設計を県が行うため、今後事業費がどれだけ増えるか不明です。

市道飯野Ⅱ-31号線建設に11億円

ふるさと広場から草ぶえの丘に山林を切り崩して新設する1.2kmの道路です。当初の事業費は10億円でしたが、資材高騰や人件費増で11億円に増額されました。

南部保健センターが廃止に

西部保健センター、健康管理センター、南部保健センターは、各種検診、健康相談、予防接種、家庭訪問など市民の健康を支える役割を担ってきました。さらに、妊産婦や乳幼児の相談支援を担うこととなり、役割が拡大しています。

しかし経費削減のため、来年度から南部保健センターが廃止されます。広い南部地域をカバーし、利用者が年間6千人以上いるセンターを廃止すれば、検診の受診率低下や、困った時に相談できなくなる可能性があります。私たちは現在の3カ所の拠点を維持すべきと訴えました。

来年度も値上げラッシュです

介護保険料は、2024年度に基準年額が4200円引き上げられました。国民健康保険税は2024年度に引き続き、26年度も値上げが実施されます。物価高騰の中、市民生活を直撃しています。さらに来年度は、学童保育、公民館、消費生活センター、草ぶえの丘、農村集会施設、音楽ホール、ミレニアムセンターなどの使用料・利用料が値上げされます。基本方針に基づいて4年ごとに改定するとして、今回は10%~40%もの値上げとなっています。

学童保育料は月額1000円の値上げ、生涯学習の場である公民館は10%超の引き上げになり、市民活動の縮小や健康増進などへの影響が危惧されます。昨年度の社会保障費の引き上げに続く公共施設の利用料値上げは、市民に寄り添った市政運営とは言えません。子育て世代からは、公共事業にばかり税金を使うのではなく、待機児童がいる学童保育の増設や空調設備の更新など後回しにせず、早急に対応してほしいとの声が上がっています。住民福祉を第一にした施策に今こそ転換すべきです。

来年4月から水道料金値上げに

市は、料金値上げの理由として、人口減少や節水機器の普及による料金収入の減少、施設の老朽化・耐震化による費用の増加のため、としています。

佐倉市の水道水は、以前は地下水と受水（河川の水）の割合が「65：35」でしたが、5年前八ッ場ダムが完成し、現在は「50：50」です。安い地下水が減らされ、高い河川の水が増えたため受水費が増え、水道料金にはね返ったのが主な原因です。

霞ヶ浦導水完成でさらに値上げ

今回の値上げは2~3人世帯のモデルケースで1カ月税込み550円となります。それどころか、5年後に霞ヶ浦導水が完成すると、暫定井戸が利用できなくなり、地下水が3割に減らされ「30：70」となります。受水量が増えるため30億円かけて受水施設が必要となり、さらに水道料金を上げざるを得なくなります。

人口減、水余りの現在、無駄な霞ヶ浦導水事業から撤退すべきです。



決定!! 京成佐倉駅 北口エレベーター設置

北口で、早朝議会速報を配っている時、足の不自由な方が苦労して階段を上っていく姿を目撃し、早急なエレベーターの設置が必要と、昨年、6月議会で質問を行い、求めてきました。

今議会最終日、急きょ、京成電鉄（株）の駅寄宿舍の改修に合わせて、エレベーター設置の予算が提案され、議決しました。費用は総額1億5千万円で、京成が7500万円、県・国が3100万円、佐倉市の負担額は4400万円です。完成予定は2028年9月。

市民による署名活動が大きな力となり、北口エレベーターが実現します。

75歳以上にタクシー助成券配布へ

市は国の物価高騰対策の交付金を使って、通院や買い物の移動に使えるタクシー助成券を配布します。今年度、75歳以上の方が対象で、1人につき500円券×4枚です。高齢者の移動手段の確保は喫緊の課題です。高齢者が積極的に外出することは、健康寿命を延ばし、医療費削減にも繋がります。私たちは以前からタクシー券の配布を要望してきましたが、今回の助成券

配布が継続した事業となるために、市として予算を計上するよう、要望していきます。



市民ネットワーク（松島、伊藤、五十嵐）提出の意見書

意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明党	自由民主 さくら	共産党	公開と 改革	無会派の会	
学校、保育所等における香害及び化学物質過敏症対策を求める意見書	×	○	×	×	×	○	×	×	○
空襲等被害者に対する救済措置と被害の実態調査を定めた法律制定を求める意見書	×	○	×	×	×	○	×	×	○
さくら・市民ネットワーク通信は11月19日発行予定		松島 伊藤 五十嵐	平野、櫻井、爲田 高木、敷根、望月 斎藤(明)、密本 齋藤	岡村、押木 鍋田 長谷川	徳永、山本 橋岡 石井(秀)	石井 木崎	三谷 高橋	三井 宇田	稲田